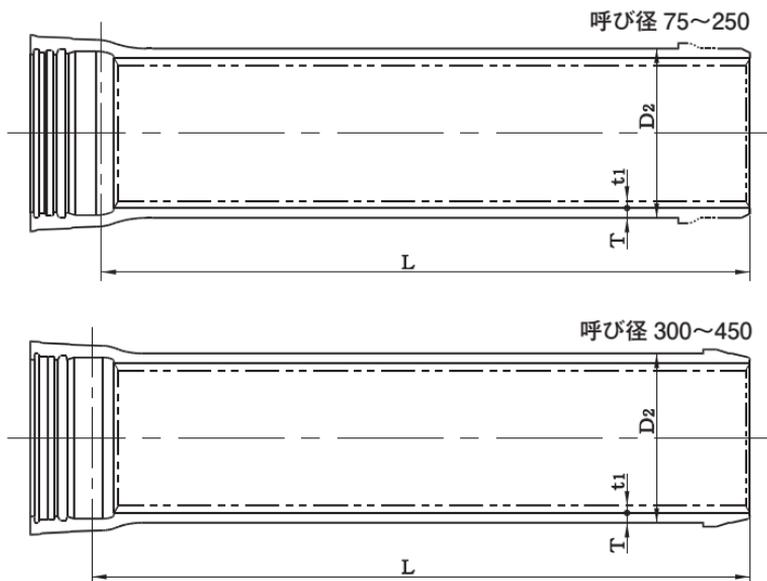


表 目 次

G X形ダクタイル鑄鉄管	頁
表 13 - G X形 ダクタイル鑄鉄管	64
G X形ダクタイル鑄鉄異形管	
表 14 - G X形 ダクタイル鑄鉄異形管	66
表 15 - G X形 二受 T 字管	68
表 16 - G X形 片落管	69
表 17 - G X形 両受曲管 45°	70
表 18 - G X形 両受曲管 22½°	71
表 19 - G X形 曲管 90°	72
表 20 - G X形 曲管 45°	73
表 21 - G X形 曲管 22½°	74
表 22 - G X形 曲管 11¼°	75
表 23 - G X形 曲管 5⅝°	76
表 24 - G X形 フランジ付き T 字管 (空気弁用・消火栓用)	77
表 25 - G X形 浅層埋設形フランジ付き T 字管(空気弁用・消火栓用)	78
(呼び径 75 ~ 250)	
表 26 - G X形 渦巻式フランジ付き T 字管 (消火栓用)	80
(呼び径 75 ~ 350)	
表 27 - G X形 排水 T 字管 (呼び径 300 ~ 450)	81
表 28 - G X形 継ぎ輪	82
表 29 - G X形 両受短管	83
表 30 - G X形 乙字管 (呼び径 75 ~ 300)	84
表 31 - G X形 帽	85
表 32 - G X形 ソフトシール仕切弁 (1) (呼び径 75 ~ 250)	86
表 32 - G X形 ソフトシール仕切弁 (2) (呼び径 300 ~ 400)	88

表 13 - G X 形



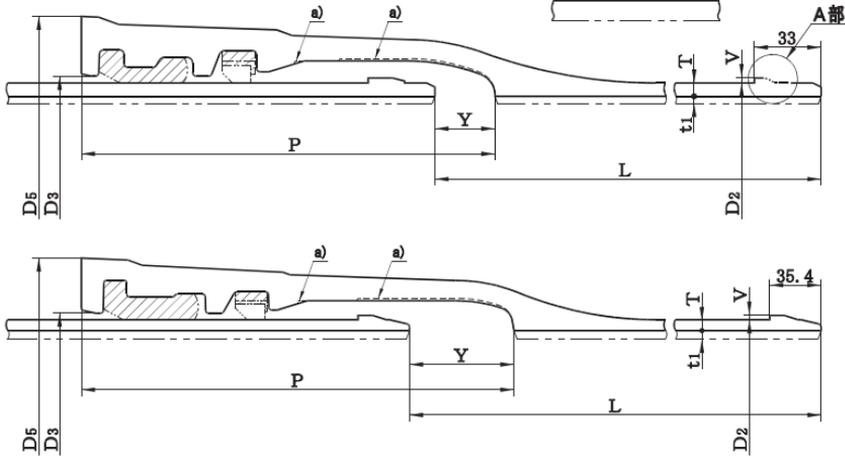
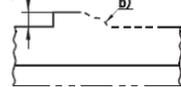
呼び径 D	管 厚 T		外径 D2	各 部 寸 法					有効長 L
	D1	DS		D3	D5	P	V	Y	
75	7.5	6.0	93.0	100.8	159	204.5	2.5	45	4000
100	7.5	6.0	118.0	126.8	190	210.0	3.0	45	4000
150	7.5	6.5	169.0	177.8	242	246.0	3.0	60	5000
200	7.5	6.5	220.0	229.0	294	255.0	3.0	60	5000
250	7.5	6.5	271.6	280.6	346	256.0	3.0	60	5000
300	7.5	7.0	322.8	331.8	408	298.0	3.0	72	6000
350	7.5	7.0	374.0	383.6	465	310.0	3.0	74	6000
400	8.5	7.0	425.6	435.2	521	316.0	3.0	75	6000
450	9.0	7.5	476.8	486.4	572	322.0	3.0	77	6000

挿し口突部 (V 寸法) の形成は、溶接、鋳出しなど適切な方法で行う。

ダクトイル鑄鉄管



A部詳細



注^{a)} 受口内面の形状は、破線の形状でもよい。

注^{b)} 呼び径 75 ~ 250 の挿し口突部の挿し口側の形状は規定しない。

編集注記 現地で切管する場合は、633 頁の「現地で切管によって挿し口を形成する場合の適用管種(管厚)」による。

単位 mm

受口突部	挿し口突部	質量 (kg)				モルタルライニング(参考)		呼び径 D	
		鉄 部				厚さ t1	質量 (kg)		
		直部 1 m		1 本当たり			直部 1 m		1 本 当 た り
D1	DS	D1	DS	D					
9.2	0.08	14.40	11.73	66.2	55.7	4	2.23	8.83	75
12.1	0.12	18.62	15.09	85.8	71.9	4	2.99	11.8	100
18.8	0.22	27.21	23.73	153	136	4	4.52	22.3	150
25.0	0.36	35.80	31.17	202	179	4	6.06	29.9	200
29.9	0.44	44.49	38.71	250	222	4	7.62	37.6	250
51.3	0.16	53.12	49.66	366	346	6	13.65	80.9	300
62.0	0.18	61.74	57.71	428	404	6	15.97	94.6	350
71.2	0.21	79.64	65.82	543	461	6	18.21	108	400
80.4	0.23	94.57	79.06	641	549	6	20.48	121	450

この場合、離脱防止力は、3D kN (D は、呼び径 mm) 以上とする。